



## 旭山で短期間／ときどき見られる野鳥：夏鳥編

旭山で見られる機会は少ないけどレアというほどでもない野鳥、今回は夏鳥に絞って紹介します。

これらの野鳥には①②③3つのタイプがあり、出現頻度によりさらにア・イ2つに分けて話します。

ア＝毎年見られる準レギュラー イ＝年により見られたり見られなかったり (写真はすべて旭山で撮影)

### ①春先に短期間滞在の後、山地に移動して繁殖（一部秋にも来る）

ア・ルリビタキ：亜高山帯以上の山地で繁殖、秋にも見られます。

- ・コマドリ：現時点で秋の観察記録はないものの、市内では秋にも現れる場所があり、旭山でも秋にも見られるかもしれません。
- ・エゾムシクイ：溪谷がある山地で繁殖します。現時点で秋の記録はないですが、8月に幌見峠で囀りが聞かれたことがあります。
- ・アカハラ：春に短期間滞在、秋はたまに見られるくらいです。
- ・ビンズイ：毎年春に10日前後、秋も数日見られますが、過去に1度だけ8月に園内で幼鳥が観察されたことがあります。

イ・サメビタキ（写真①）：春は少なく、秋の方が観察機会は多いです。

- ・クロジ：春はほぼ毎年見られます。7月に旭山都市環境林で囀り聞かれたことがあります。秋の観察例は少ないです。
- ・カヤクグリ、マミジロ、ジュウイチ：過去何度か記録があります。

### ②春先に短期間滞在の後、草原湿地に移動して繁殖（一部秋にも来る）

ア・ノビタキ：春と秋に1～2日だけ見られます。

- ・ベニマシコ：春と秋に1～2週間見られます。

イ・ノゴマ：旭岳など高山帯でも繁殖、旭山での記録は春のみです。

- ・エゾセンニュウ：ここ数年は情報がなかったですが、2025年6月に1日だけ声が聞かれました。

### ③年に1から数回、春から夏に見られる

ア・ハリオアマツバメ（写真②）：高く低く飛んでいることがあります。

- ・カッコウ：夏にたまに鳴き声が聞かれます。カッコウについて詳しくは2025年6月号の記事もご参照ください。
- ・オシドリ（写真③）：5～6月にときどき旭山都市環境林に来ます。

イ・コムクドリ（写真④）：林がある開けた場所や庭園で繁殖しますが、

- 近隣で繁殖した年には旭山でも初夏にときどき見られます。
- ・アリスイ：旭山では過去に何度か見られただけです。
- ・ミサゴ、アオサギ：ごくたまに上空を飛ぶ姿が見られます。

あまり見られない野鳥がいて、とても得した気分になります。そんな出会いがあるといいですね。



## レストハウス「ぼるく」営業中！ 10時～17時

北海道にも本格的な夏到来。  
ぼるくでは、以前からお客様からのご要望が多かったコーヒーフロートを発売することにしました。  
「西興部村ソフトクリー夢」をアイスコーヒーにのせました。  
ちょっぴり苦いアイスコーヒーと爽やかな甘さのソフトクリームを一度にお楽しみいただけます。



600円（税込）

フォトコンテスト入賞3点決まりました！  
ぼるくにてポストカード販売しています。

- ・金賞（左上）  
エゾリス
- ・銀賞（右上）  
シマエナガ
- ・銅賞（下）  
クマガエ





## 旭山野鳥メモ 70 ギンザンマシコ

ギンザンマシコ Pine Grosbeak *Pinicola enucleator* スズメ目アトリ科  
冬鳥。一部道内高山帯で繁殖し秋に低地に降りて越冬する。

雄は全体的に赤く、雌は緑褐色、色のパターンはイスカに似る。

旭山ではときどき単発で見られる。今年1月に1日だけ声が聞かれた。  
札幌市内でも冬にときに20羽以上の群れで見られ、西岡のナナカマ  
ドの街路樹にやって来て1時間も2時間も実を食べ続けていたり、山手  
通りのナナカマドの街路樹にやって来た年もあった。

「ピョー」という笛のような細かい声で鳴く。かつて元旦初日の出を待  
っていた未明に展望台で鳴き声が聞かれたこともある。囀りは旭山で  
は聞かれたことがない。

旭岳が観察撮影ポイントとしてよく知られる。花の季節には花とセット  
で訪れる人も多い。旭岳ではハイマツ帯で見られる確率は低くないが、  
ロープウェイ山麓駅周辺ではたまに見られる程度だという。

本州以南では冬でも稀で、バーダーが北海道に来て見てみたい野鳥  
の筆頭格であると聞く。大通公園や住宅街で見たことがあると話すと思  
じられないといった反応が多い。赤い鳥はどこへ行っても人気が高い。



## 2025年7月の野鳥トピックス

©2025 年 6 月末までに園内で幼鳥が観察された野鳥

アカゲラ、オオアカゲラ、コゲラ、ゴジュウカラ、シジュウカラ、  
シマエナガ、センダイムシクイ、ハシブトガラ、ヒガラ、  
メジロ、ヤブサメ、ヤマガラ (右写真)

- キビタキ：園内数か所で囀りが聞かれ探せば姿も見られます
- オオルリ：7月に入り囀りがまたよく聞かれています
- コサメビタキ：7/5 まだ幼鳥確認されておらず今後期待です
- クロツグミ：囀りと地鳴きがときどき聞かれています
- ウグイス：6月下旬からまた囀り出しました
- イカル：ときどき園内で姿や声が観察されています
- アオバト：鳴き声がときどき聞かれています
- クマゲラ：園内で毎日のように見られています



## 旭山ミニ生き物図鑑2025年7月



今年もエゾシカ 6/23



夏のエゾリス 7/2



メスアカミドリシジミ 7/2



地面を歩くキマワリよろしく 7/4



オオハキリバチ軽度注意 7/5



夏の花ウツボグサ 7/2



ハエドクソウ旭山に多い 7/4



ウマノミツバ (ひつつき) 6/27



公式サイト

「アカゲラ通信」 第141号 2025 (令和7) 年7月6日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/>

〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351